

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	地域人材による魅力創造事業			事業番号	25-102
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	企画部	山室 好正	広報戦略課	桑原 豊	

計 画 (Plan)

総合計画体系	活力	まちづくり目標	3	個性豊かで活力あるまち
		基本政策	6	産業の活力があふれる元気なまちづくり
		施策展開の方向	11	多くの人が訪れる賑わいのあるまちをつくる
		施策	25	シティプロモーションの推進
予算事業名	シティプロモーション活動事業費			
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成29年度	～	終了年度
関連法令等				
国・県の計画等			計画期間	
関連個別計画	いせはらシティプロモーション指針		計画期間	令和2年度～
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	若者がSNSを使って自己表現をしたり、仲間や社会との繋がりを構築するようになっていきます。また、他市町村で生まれ育った市職員の割合が高くなってきています。			
目的 (何をどうしたいのか)	若い世代の活力を生かすとともに、シティプロモーションを担う人材を育成しながら、地域の新たな魅力を発掘・磨き上げ・創造するシティプロモーション活動を実施します。			
主な対象 (誰・何を対象に)	市民、学校、企業、関係団体、他市町村住民			
事業内容 (手段、手法など)	・教育機関との連携により、若い世代のアイデア等を活用し、地域の魅力の掘り起こしや創造につながるシティプロモーション活動を展開するとともに、伊勢原をより深く知るための自主的なプロモーション活動を支援します。			
事業行程	項目	年度		
		令和3年度	令和4年度	
	大学等との連携	動画作成・配信	動画作成・配信	
	市民・団体等との連携	SNS配信等	SNS配信等	
職員グループへの活動支援	イベント協力	イベント協力		
目 標	【指標名】	【現状値】	年度	
			令和3年度	令和4年度
	プロモーション公認サポーター数	60団体(個人) (令和2年度)	63団体(個人)	66団体(個人)



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	若者のアイデアやスキルを生かした短編動画を制作し、効果的な配信に取り組み、市内外に対して、強く「いせはら」の発信に努めます。 また、市民等におけるシティプロモーション活動の担い手として、シティプロモーション公認サポーターの認定を推進し、SNS等を活用した連携強化を展開します。合わせて、著名人によるサポーター活動について調査・研究を行います。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施 <input checked="" type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	具体的内容	大学、市民・団体等との連携
実施結果	項目	年度	
		令和3年度	令和4年度
	大学等との連携	動画作成・配信	
	市民・団体等との連携	SNS配信等	
	職員グループへの活動支援	未実施	
実施した取組の内容	産業能率大学及び向上高等学校と連携し、若者のアイデアを生かしたシティプロモーション動画の作成・配信を行いました。シティプロモーション公認サポーターの活動について市ホームページや公式SNS等で紹介したほか、名刺作成等の活動支援を行いました。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度
	プロモーション公認サポーター数	60団体(個人) (令和2年度)	令和3年度 63団体(個人) 令和4年度

		年度		令和3年度 実績				令和4年度 実績				
内訳	事業費合計 (a)		0	千円							千円	
	内訳	国県支出金 ①		0	千円						千円	
		地方債 ②		0	千円						千円	
		その他特財 ③		0	千円						千円	
		一般財源 (a)-①-②-③		0	千円					0	千円	
国県支出金の内容												
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期							
		その他										
人件費	正規職員		0.04	人	327	千円		人			千円	
	その他の職員		0	人	0	千円		人			千円	
	人件費合計 (b)		0.04	人	327	千円		人			千円	
トータルコスト (a)+(b)				327	千円					0	千円	
単位当たりコスト	対象数	定義	年間入込観光客数				単位					
		対象数	1,411,642				人					
	総事業費／対象数	0				円						

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	いせはらシティプロモーション指針に基づき、大学生との連携による動画作成や、シティプロモーション公認サポーターの活動支援、各種SNSによる情報発信を計画どおり行いました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	公認サポーターの登録数は順調に増加しており、類似した制度を有する近隣自治体と同水準でプロモーション活動を実施しています。今後は、サポーターの活動を生かした取組や、各種SNS等により連携を深めるなど、取組を検討する必要があります。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	地域の活力を高め、若い世代へ伊勢原の魅力をPRする手段として有効な事業であり、今後も継続実施する必要があります。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	市民や学生、企業、関係機関と連携することにより、事業費や広告宣伝費等の経費をかけることなく、効率的にプロモーション活動が実施できています。


 取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	シティプロモーション公認サポーターの継続的・効果的な活動促進を図るため、更なる連携や活用方法の構築が必要です。また、インフルエンサー的な役割を果たす、著名なサポーターの認定や活用についても検討する必要があります。
令和4年度の取組方針		若者のアイデアやスキルを生かした短編動画を制作し、効果的に活用することにより、市内外へ強く「いせはら」を発信します。また、シティプロモーション公認サポーターの認定を推進し、各種SNS等を活用した連携強化を展開するとともに、著名人によるサポーター活動について調査・研究を行います。		
所管部長による総評		学生等と連携したプロモーション動画の制作・配信は、市内外の若い世代に伊勢原の魅力をPRするツールとして有効であり、取組を継続します。また、シティプロモーション公認サポーターの登録数は順調に増加しており、シビックプライドを持つ様々なプロモーション活動が実施されていることから、引き続き支援を行うとともに、連携の強化に取り組みます。		